



友への手紙

自分の足で立つことを

A君、お盆にはほんとうに奇遇だつた。十年振りだもの、あんな立派な若人になつていてちよつと思ひ出せない位だつた。

元氣よく働いて居る様子何よりもおめでたう。子供の時から一緒に騒ぎ遊んだせいか唯の友達気分がしない。

つい兄貴振つてしゃべつてはつとしたよ。

年こそ下だがつかりした考えて生きて居る君に、兄貴面できるかどうか、とにかくよき友として元通り宜しくたのむ、と云つてもお互に元よりおとなになつたね、君はおかしかつたらう。

「あのイタズラ坊主がまじめになつた」と思つておぼしめになつた。

「だいがまじめになつたつもりだが、元はホラ吹きヘリクツの名人で、君の批判がきびしかつたつけ。

さて今度は相談相手になれるかな？」

君が親とはなれて暮そう

包装改善について

三十一年度産米の包装改善については、縣が中心となり食糧事務所と縣産米改良協会が協力して包装改善運動を展開し、生産者もこれに呼應して協力下され、消費者の好評を得ましたが、今更申上げる迄もなく、今日従来のように強制的供給時代とは違い、米を商品として取扱つて居るのが現状であり、随つてそれは吾々が商店より如何なる少々な品物でも、金額よりも品物の良いものを見定めて買うのであるように、やはり願ひ致します。

米依もその通りである。そこで米の商品価値を向上させる爲、昨年は包装重量と、荷造りの統一の一環として、俵尺により俵の長さ統一を図つて來、これが相當の好評を得たが、一部の人は俵の長さにとらわれず、横繩の緊縮が粗になつたものがあり、これでは逆効果となるので、本年は横の俵尺も設定し、検査に使用される事になつたので、自分の米の商品価値を向上させるべく御協力をお願い致します。

俳句

日俳中里支部
秋 陽
アカシヤの花よいたすらに
戀すまじ
栗の花娘二八に戀もなし
出干や無き人の物動き居り
大公望蚊の猛襲に想乱れ

月見草闇に明るき一とこ
盆香のゆらぎ亡母の顔となり
花嫁のあられなき聲夕立す
油照り大パノラマの如き夕
短夜の明け初む程に輪の響き
大花

聲蜻蛉の仙境に居て昼ふかし
煤けたる部屋風鈴によみ返り
垢穢けし歸省の芽と暮洗う
地道こぼれしき莞爾と廻り
お婆々見ゆるかと程菜豆よ
じ登り

リンゴなます

（材料）つけたリンゴ、食酢、砂糖、塩少々
（作り方）つけた青リンゴを皮をつけたまゝ、薄く千枚切りにし、これを塩もみにしておきます。（十分間位）次にこれに食酢と砂糖を加え味をつけます。
このリンゴなますは歯ざわりもよく、酒のさかなにしてもよろこばれます。
（注）りんごづけの作り方未熟の青リンゴを良く水で洗ひ、タルづけにする。使用するものは固さや味から云つても國光がよい。秋につけ年を越して六、七月ごろ食べごろとなる。淡く酸味も多少ありそのまゝ、食べてもよい。

それから「哲學入門」と「家庭料理集」は中里公民館の図書室にある筈だ。こういう本を讀むようになったんだから、僕もおとなっぽくなる譯だな。では何か役に立つと嬉しいんだが……君の希望の成功を祈る。

【三浦から続く】
正に精進的的存在で、今の現状からしては、水澤村も中里村も先細りは必至であり、立村の總計書も立たない。
それ文村はおくれ、経済的に追いつめられていくであらう。
そのときになつてからではおそい。
時期の定めはあるが、立村は住民の協同の責任においてなされるものであることを再認識し、一日も早く目的が達成されるよう話し合いを進めることを期待して止まない。

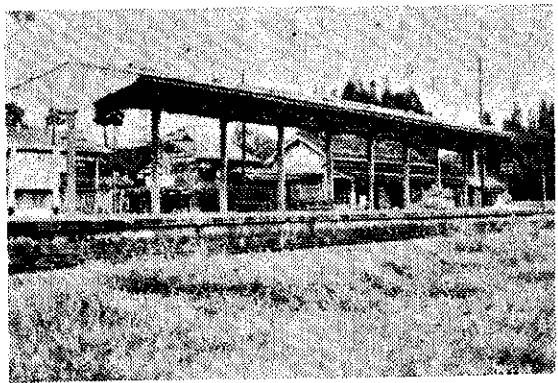


発行所 民館
中里村公所
印刷所 新開社
十日町

十二線本年度着工

本年度分は六百万円

十二線が貫通することは高田より東頸城の松之山、本那豊原峠を越えて鹿渡及宮中より越後田澤驛を経て石打、六日町に通ずる地方主要道路貫通の手始めであつて、上中越地方と國鉄上越線へ直結し、關東一圓との輸送の完壁と、産業文化の交流に極めて肝要なものであり、村民としても數十年來の宿願であり、戦時中一部着工したが中止となり、その後再々陳情請願を重ねて來たが、予算都合から着工の運びとならなかつたものであるが、ここに多年の運動が功を奏し、この度県当局より村長に差当り、昭和三十三年に六百万圓の予算をもつて着工することが明らかにされたものである。



田沢駅に上屋

村費四十万圓、寄附で商工会より二十万圓、一般より二十万圓計八十万圓でこの度田澤驛に全きん造りの上屋を建設した。

米の乾燥とその方法と程度

食糧事務所 田沢主任 小島芳春

従來本縣産米は乾燥不良であると消費地の徹底的な酷評を受け、昭和三十一年産米は特に乾燥の点に重点を置いて、縣下全般に指導されて來たのであるが、これに對し色々批判もされた。これは當然の事と思ふし、それは農家の考えと、指

導者の考えが一致しないため、誤解を受けた面もあるようであるので、三十二年産米の生産出荷については今から充分生産者から次のことを認識していただく必要があると思ふ。

さて現在の米の等級の決定の大半は乾燥の良否に依り定められる点が大きいことは御承知のところであり、これは御承知のところであり、

「刈取りは適期に田の落水は出穂後二十五日を標準とし、刈取りは出穂四十日位で、晴天の日に刈取ると、稲束は小束にする。

乾燥は充分に「ハザ干はあらかける事と、ハザ干日数は九月晴天続きでも十日以上、十月以降には十五日以上にする。

ハザ入れは晴れた日の午後二時前後が良い。

ハザの長さは一反歩宛延一・五間位が良いと思ふ。

乾燥の悪い稲は乾燥機の利用、乾干等で良くする。

稲の水分は刈取直後は晴天の場合二一％位、雨天の場合二・三％位である。

これら小束一枚に稲一斗六升位が適当で、それを二時間に三回位かき廻すことが一番良い。

乾干の場合一日干したなら乾干をたてにして古俵を二枚位を敷いて、その中に入れ稲の温度のさめない爲、更に二枚位かけておくこと、二日目同じようにして置き、最後に二十四時間後稲をやる。稲の温度の高い内に稲をやる。米に割れが生じる爲である。

以上の如く心掛け三十二年産米の出荷には御協力をお願い致します。

知つておきたい言葉

- ▽ミサイル＝飛行兵器
- ▽アイデア＝思ひつきとか構想をいう
- ▽アウトライン＝概要りんかく
- ▽アシテーション＝動搖させる
- ▽アツピール＝人に訴ふる力、訴求

貸与資金の申出受付

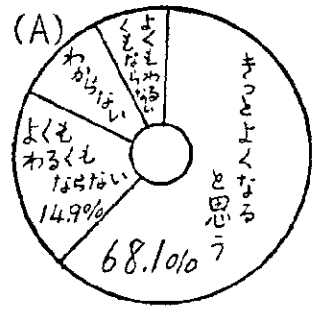
本村に今年度より大學に進学するもの、又は在学中のものに貸与する制度が出来たことは周知のところであるが、これの適用を受けようとするものは、来る二十三日迄に

教育委員会に印鑑持参、申出られるよう委員会を決つた。

貸與される額は月三千圓で、連帯保証人二人が必要であるから、それ迄にその任を受けるものについてあらかじめ了解を得て、申出られるようにしていただきたいと当局ではいつてゐる。

第4表 将来の見通しは?

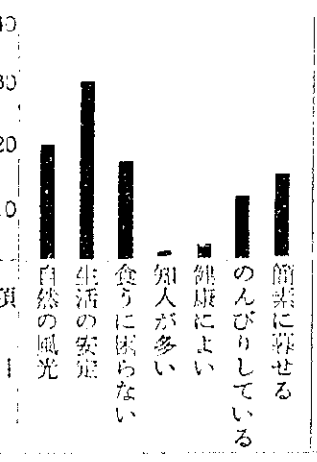
	男(名)	女(名)	計	割合%
良くなる	10	22	32	68.1
悪くなる	2	5	7	14.9
悪くはないが思	2	1	3	6.4
よくはないが思	2	3	5	10.6
わからない	2	3	5	10.6
計	16	31	47	



第3表 「現在の農村生活で良いこと」

	男(名)	女(名)	計	割合(%)
自然の風光	4	5	9	19.6
生活の安定	4	10	14	30.4
食うに困らない	3	5	8	17.4
知人が多い	1	0	1	2.2
健康に良い	1	1	2	4.4
のんびりしている	1	4	5	10.9
簡素に暮せる	2	5	7	15.2
計	16	30	46	

第2表 「現在の農村生活で嫌なことは」

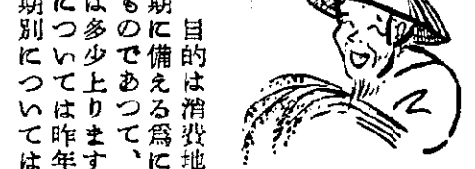


【二面から続く】
研究課題の一つである。農村生活の将来にどのような見通しを持つているか。最後に「現在の農村生活はあまりよくない」「住みにくい」というのが、将来の見通しについてどう考えているだろうか。第四表のよう

【二面から続く】
「近所の口がうるさい」「封建的である」「労働がきつい」など、これらを一ツツ、力を協せて解決して行くことが現在の農村を少しづつ良くして行くことであり、新しい村を作る一つの力である。この調査を解めながら

【二面から続く】
「生活が暗い」「台所が寒い」「近所の口がうるさい」「封建的である」「労働がきつい」「お金がない」「不けんである」「時間を守らない」「言葉が悪い」

早出米と奨励金



早出米 日までの一期とし、二期は十月十日まで、三期は十月二十一日まで、四期は十月三十一日までとなつておりその時期別に奨励金が支払われる事になつております。
その金額は九月三十日まで石当八〇〇圓、十月十日まで六〇〇圓、十月二十一日まで四〇〇圓、十月三十一日まで二〇〇圓となつて

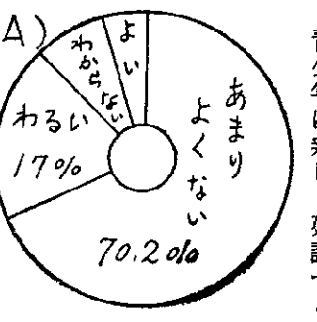
大同合併を促進せよ

中部大同合併の前提であり、漸定處置として、昨年九月只野村の一部と合併し新しい中里村として再發足したことは村民等しく周知

【二面から続く】
期別奨励金を加えた金額で支払われるわけですから、早く出荷される様希望致します。

第1表 (B)

	男(名)	女(名)	計	割合(%)
よい	1	1	2	4.3
あまりよくない	12	21	33	70.2
わるい	2	6	8	17.0
わからない	1	3	4	8.5
計	16	31	47	100



別表 「結婚についてどのように考えているか」

(女子青年のみ中間の集計)

(1) 農家へ嫁ぐことについてどう考えているか

項目	絶対嫌だ	条件さえよければいい	はじめから農家が嫌	所がなければ何とも云えない	わからない
定数	2名	4名	1名	10名	1名

(2) 農家へ嫁いで不安と思うことはどういふことか

項目	不安に思うこと	お金がない	嫁姑の関係	労働の過重	嫁の地位が低い	楽しみがない
定数	3名	1名	5名	7名	2名	1名

(3) サラリーマンに嫁ぐ魅力はどういふことか

項目	よい点が多い	夫の教養が高い	夫婦二人きりだ	結婚の仕度が高い	社会的地位が高い	子供の教育がよい	毎月収入がある	わからない
定数	3名	2名	2名	2名	4名	1名	1名	2名

(4) 結婚の相手を決めるにどうするか

項目	自分の意見を通したい	親の意見と自分の意見を半々位にした	わからない	親の云う通りだ
定数	2名	15名	2名	1名

(5) 結婚改善についてどう考えているか

項目	人が何と云うよりも改善したいと思う	非常によいことだが無理だと思ふ	わからない
定数	8名	10名	1名

調査の結果

【二面から続く】
「生活が暗い」「台所が寒い」「近所の口がうるさい」「封建的である」「労働がきつい」「お金がない」「不けんである」「時間を守らない」「言葉が悪い」

この地帯の青少年は

「農村に生れ農村に育つてきた若者も農村を嫌む都會に憧れを抱き乍ら只なんとなくその日々を送っている」と聞

調査の一例から

【二面から続く】
「生活が暗い」「台所が寒い」「近所の口がうるさい」「封建的である」「労働がきつい」「お金がない」「不けんである」「時間を守らない」「言葉が悪い」